

奈良市教育委員会
教育長 北谷 雅人 様

奈良市 P T A 連合会
会 長 山 野 賢 二

要 望 書

日頃は、奈良市 P T A 連合会の活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、コロナ禍でストップしていた学校行事も通常通り開催されるようになりました。それに伴い P T A の活動もコロナ前に戻りつつあります。しかし、コロナ禍の間に学校と保護者との繋がり、会員同士の繋がりが希薄になった影響は大きく、コロナ前の P T A には戻らないのが現状です。

奈良市 P T A 連合会では、活動が再開する中で、各単位 P T A からの声を集め、8 月 7 日に書面で開催した第 2 回理事会で内容を検討し次のように要望いたします。

《要望事項》

1. 学校の施設設備、備品を維持するための予算の計上をお願いします。

令和 3 年度にも要望したエアコンの定期的なメンテナンスや教室のカーテンのクリーニング、掃除用具の定期的な交換など、子どもたちが健康で、快適に学習できる環境を維持するための学校経費の予算化をお願いします。

2. 緊急の課題である先生の人員確保と先生方の業務軽減のための教員業務支援員配置の拡充をお願いします。また、小学校高学年の教科担任制の整備を早急をお願いします。

3. 支援の必要な子どもが増える中、インクルーシブ教育のさらなる充実をお願いします。

- ・支援の必要な子どもに対して先生の数が足りていません。
- ・小学校低学年の不登校児の居場所づくりをお願いします。
- ・学校に行くことができても教室に入れない子どもたちへの配慮をお願いします。
- ・保護者が相談できる体制の拡充と相談機関の周知をお願いします。

4. 幼稚園が民営化されていく中、残存する幼稚園は園児数も少なく集団生活における育ちや学びに関しても不安が募ります。保護者に今後の奈良市における幼児教育についての展望の周知をお願いします。

《補足説明》

1. 令和3年度に要望した学校のエアコンの定期的なメンテナンスに関して、『実施方法や実施周期等を検討し、財政当局に対して要望していきたい』という回答でしたが、その後の進捗状況を教えてください。また、学校のカーテンのクリーニングに関しては、今までPTAが委員会活動や係活動などで担ってきました。昨今、保護者の就業率が上がるにつれPTA退会者も増える中、PTAの組織改編が行われ、委員会や係をなくすPTAが増えてきました。家庭で洗濯をすることが難しい保護者も多く、PTA会費でクリーニング代やコインランドリーの費用を捻出している現状です。PTAから学校へのお金の流れは全国的にも問題になっています。川崎市では保護者から多くの声があがり、小中116校のカーテンのクリーニング代4千万円が予算計上され、学校には『公費・私費の負担区分』が周知されました。奈良市は当連合会と教育委員会が協力して保護者負担軽減を目指し、学校協力金を廃止した経緯もあり、他府県、他郡市に比べるとPTA会費が学校に流れている金額は少ないと思いますが、全くないわけではありません。『学校の第二のサイフ』と言われている任意団体であるPTAの会費で、学校の施設設備の維持や管理を行うことがないように、しっかりと予算化し、学校経費を増額していただきますようお願いいたします。また、奈良市独自の『公費・私費の負担区分表』を作成していただき、学校に周知していただくとともにPTAからの寄付に関するルールの徹底をお願いします。
2. 先生方の人数が不足しているのは承知していますが、休職や退職された先生の代わりが見つからない状況が続いています。管理職の先生が授業に入られているという声も多数上がってきています。頻繁に担任の先生が変わることで子どもの心にも負担がかかっています。先生方の人数確保の対策を早急をお願いします。また、先生方の負担軽減のために小学校高学年の教科担任制の整備をすすめていただきたいと思います。
3. ・近年、特別支援学級の子どもに加え、何らかの支援が必要な子ども数が急増しています。先生方の人数が不足している中で工夫しながら対応していただいていることに感謝しています。しかし、それもまた先生方への負担となっていることも事実です。特別支援教育支援員の人員や時間数の増加をお願いします。
・小学校高学年からの不登校児の居場所にはHOP等がありますが、低学年を受け入れてくれる施設がありません。低学年の不登校児の居場所づくりをお願いします。
・今まで、教室には入れないが学校には行きたい子どもたちは保健室登校ができていましたが、教室に入るか家に帰るのかを選択しなければならなくなりました。教室に入れなくても学校には行きたい子どもたちへの対応をお願いします。
・保護者が学校カウンセラーに相談したくても予定が詰まっています。何カ月も待たなくてはならない現状があります。困っている、悩みを抱える保護者が相談できる体制の充実と相談できる機関の周知をお願いします。
4. 幼保再編が始まってから、幼稚園の民営化が始まり奈良市立の幼稚園こども園の数が少なくなってきました。特に現存する幼稚園は子どもの数も少なく今後の展開もわからないまま、不安を募らせています。奈良市の今後の幼児教育に関するお考えをお聞かせください。